

【別記】新型コロナウイルス感染症対策の留意点

<基本事項>

- マスク着用、手洗い・手指消毒を徹底します。
- 3密（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発声）を排除した環境づくりに努めます。

I 新型コロナウイルスを持ち込ませない対策の徹底

1 発熱等かぜ症状のある学生の出席自粛の徹底

- 家庭で毎朝、体温を測り、発熱・咳などの症状がある場合は、登校を控えていただくとともに、学校に連絡をお願いします。（欠席届の提出をお願いします。）
- 家庭で登校前に検温をしていない学生に対しては、体温測定を徹底します。（職員室に体温計の設置）
- 新型コロナウイルス陽性と判明した場合は、出席せず、療養に努めてください。（公欠扱い）

II 新型コロナウイルス感染を広げない対策の徹底

1 手指消毒の徹底

- 送迎バス、農業大学校建物入り口、手洗い場には、せっけんや消毒用エタノールを設置しますの
で、活用してください。

2 登下校時の環境づくり

- 公共交通機関を利用する場合は、混雑を避けることができるよう、登下校時間は留意してください。
- 送迎バスは、窓を開け、常時換気します。
- 学生、職員等はマスク着用とします。

3 教室の環境づくり

- 窓は常時開けます。これによりがたい場合は、1時間に1回、5～10分程度換気します。
- 机は前後左右と1m以上離します。
- 学生、職員等はマスク着用とします。

4 実習の環境づくり

- 少人数（8～9名以下）での実習とし、説明時などは隣との間隔をとる（1m以上）よう留意してください。
- 学生、職員等はマスク着用とします。ただし、ハウス内で熱中症の不安のある場合等は、マスクをとるとともに、水分補給に十分注意してください。